

第 02339 号

発行日 平成 26 年 9 月 10 日

●本日のプログラム

協 議 会
クラブ・職業・青少年奉仕

●次週のプログラム

会員卓話 神山芳子会員

下館ロータリークラブ会報

Rotary International
District 2820
SHIMODATE ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT



ロータリーに
輝きを

RI会長 ゲイリー C. K. ホアン



会長 鈴木光則

副会長 小林一彦

幹事 早瀬浩一

会長エレクト 新井和雄

事務所 ダイヤモンドホール 〒308-0847 筑西市玉戸1053-4 TEL0296-28-8511 FAX0296-28-8533
ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp

例会場 毎週水曜日 PM12:30～ ダイヤモンドホール(筑西市玉戸1053-4 TEL0296-28-8511)



前例会報告 第 2622 回 2014/9/3(水)

会長挨拶

鈴木光則 会長

9月は 青少年月間です。私はカスタマンダップロータリークラブのガジェンドラーさんのお言葉で「青少年は世界共通の財産である」というお言葉が脳裏にいつも浮かびます。ロータリークラブに入会して、ローターアクト・ライラセミナー・WCS ネパールの子供達への学用品等のプレゼント・ハローワールド・青少年の主張大会等を通じて青少年への奉仕ができていくことに喜びを感じています。提唱している下館ローターアクトクラブも会員が極端に減少しています。会員増強への協力並びに例会への出席をお願いいたします。

今年度、クラブ運営目標にも掲げています。地域青少年へ彼等のこれからの人生の夢に繋がるような場・機会を提供できるように努めていく所存でいます。

幹事報告

早瀬浩一 幹事

1. RIより the Rotarian の冊子を受理しました。
2. 岩瀬RCより 9月17日の例会場の変更を受理。ゲストハウス湖畔閣(ガバナー公式訪問)
3. 下妻RCより 9月11日の例会場の変更を受理。職場訪問のため(ナイテック茨城工場)

RIの会員表彰担当チームより、新会員を推薦された会員に対して今年度は、ロータリー徽章が贈呈されます。早瀬幹事が今回贈られることとなり、贈呈式を執り行いました。



理事会報告

早瀬浩一 幹事

1. 10月のプログラムの承認および一部変更
10月1日 米山月間の為米山委員長卓話
2. 広島豪雨災害に対する義捐金1人500円としてクラブより送金
3. 神山会員のバレーコンクールの後援、会長の表彰式への参加、ホームページへのリンクの許可
4. 国際奉仕『この指とまれ』の事業に協賛していただいたクラブ、協賛金を送金したクラブ名を現況報告書に必ず国際奉仕委員会は、年度末の委員会活動報告書に掲載し、次年度にも申し送りすること。
5. 友好クラブである高梁RCの公式訪問に対して、毎年、会長、幹事、親睦活動友好委員長の連名にて祝辞を送ること。また、次年度にも申し送り、年に1回は、友好の場を作ること。

新入会員卓話

前島賢彰 会員



常陽銀行下館支店の前島です。日ごろは、当行をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

私も会員になって、早いもので1年が過ぎました。仕事で欠席が多く皆様にはご迷惑をお掛けしております。卓話については、過去2回プログラム委員会の方から依頼があり、その都度、急な仕事が入り、辞退させていただいております。プログラム委員会の皆さまには、大変ご迷惑をおかけしました。本日、三度目の正直と言うことで新入会員卓話をさせていただきます。つたない話ですが、時間までお付き合い頂きたいと思っております。

私は、昭和31年6月土浦生まれですが、4歳の時に、父親の仕事の関係で福島県郡山市に移り、小・中・高校と郡山で過ごし、我々の年代では、東京に出るということは一種の憧れであり、御多聞にもれず、そのようになりました。昭和55年4月に常陽銀行に入行しました。面接試験で当時の専務取締役から「君は、学校で勉強をしなかったのか?」と言われ、これはダメだと思って下宿に帰った思い出があります。どういう訳か入行し、初任店は水戸の末広町支店でした。昨年6月に下館支店に赴任となりました。気付いてみたら、あっという間の三十数年でした。

さて、本題に入ります。何を話したら良いか色々考えました。皆さんのように上手くいくか心配もあり、この場に立っても、ドキドキしております。

昨年、入会したての新入会員卓話であれば、今頃はやっていた「倍返し」の「半沢直樹」のお話ができると思いますが、1年も前の話であり、簡単に触れるに留めます。銀行に対する金融庁検査の裏話を一つご紹介いたします。半沢直樹が勤めておりました東京中央銀行に金融庁の検査が入る場面がありました。あのシーンは、事実をもとに作成されています。その銀行は、メガバンク、旧都市銀行の一つです。テレビでは地下の倉庫に隠しておりましたが、その銀行では金融庁検査官が検査をしている部屋のひとつ下の階の倉庫に隠しておりました。「検査忌避」で、当時の取締役3人が責任を取り辞任し、その後の裁判でも有罪になったと記憶しております。また、それがもとで合併することになり、今はありません。その他、国税庁の査察が銀行に入る場面も事実であり、私も同じような場面に遭遇したことがありました。

本題に戻りまして、先ほど自己紹介でも述べましたように、県西地区での仕事は初めてですので、最初は歴史的・経済的にもどのような地域なのか分からないというのが本当のところでした。ただ、私は水戸の勤務が長かったため、なんとなく水戸と県西・筑西市とは違うのではないかと感じました。また、お取引先の経営者の方とお



話をしましても同じように感じている、私にはそのように聞こえることが多かったです。例えば、日本銀行の水戸事務所が3ヵ月に一度「茨城県の企業短期経済観測調査」、いわゆる「短観」を発表しておりますが、なんとなく、それとも違うと感ずることがあり、何が違うのか？ 茨城県全体と県西・筑西市では、やはり傾向に違いがあるのか？ でも、良く分からないというのが実情でした。そこで常陽地域研究センター通称常陽アークに頼んで県西・筑西市について調べてみました。

①茨城県経営動向調査

全県では△1.3ポイントですが、県北はプラス、県西の△2.2ポイントと下降傾向は、他の地域と比べると少ないとの結果です。皆さんの感じ方と比べるとどうでしょうか？

同じ時期に日本銀行水戸事務所のホームページで「短観」を発表していますが、それによると、全産業では6ポイント悪化、製造業では2ポイント改善、非製造業では12ポイント悪化となっています。

これは、常陽アークの調査と、日銀の調査と同様の結果と見るか、常陽アークの方が、より景況に関しては深刻とみる方が多いのか判断に迷うところです。

②茨城県景気ウォッチャー調査

県西地域は、ほぼ全県ベースと同様の動きとなっています。若干数値が悪くなっているのは、4月の消費税増税の影響があると見て良いのではないのでしょうか。なお、茨城県景気ウォッチャー調査はインターネットで過去の方も見られますので、お役立て頂ければと思います。

③求人倍率

求人倍率は、全県ベースを上回る水準とありますが、どうしてなのか？ 働きたいと思う人は、ほぼ就職が済んだと言うことでしょうか？ 数値は改善しておりますが、確かに、筑西職安の前の道路が前は混み合っていました、この頃はそうでもないというのは、好転しているからでしょうか？

④自動車保有台数

県西地域というのは、古河市・筑西市をはじめ坂東市・常総市・境町・五霞町なども含んでいます。人口が減り始めているのに、自動車だけはどのように増えているのでしょうか？ 一人で2台持つようになったかなど疑問が膨らみます。

ここまで4つの指標を見てきました。当初の私の想定では、何か県西・筑西市の特徴的なことが見えてくるのではないかと考えていたのですが、どうも違うようです。何かの相関があるようなものではないようです。結局、茨城県全域の動きと同じように当地域も動くというのが見方なのかと思います。しかし、始めに言いました、何となく水戸と県西・筑西市とは違うのではないかという感じは今も思います。もしかすると、県内地域との比較ではなく、業種で見るともっと相関が見えてくるとかがあるかもしれません。時間があつたらまた調べてみたいと思います。

これで終わっては面白くないので、何か筑西市固有のデータがないか、データから何か分からないか探してみました。

①県内地域別自動車台数

最近5年間の比較では、茨城県全体では、自動車の合計数は3.7% 9万台増えていますが、検査自動車が減っているのに対し、軽自動車は15.6%増で、約115千台増えています。筑西市のデータでは、県と同様の傾向を示し、特に筑西市では人口が減少しているのにも関わらず、自動車全体では増えていますし、軽自動車が14.3% 4千台も増加しています。ただし、このデータには法人所有も含まれていますので、より確かなものにするには、個人・法人所有別に調べる必要があります。

②JR 乗車人員

自動車が増加しているのであれば、JRの利用者はどうかということに着目してみました。提示したデータは、降車、つまり駅に降りる人は数えずに、乗車した人の数です。また、年間の総乗車人員を1日当たりの平均にしたものです。例えばJRで通学している高校生が下館駅で降りた場合はカウントせず、家に帰る時に下館駅で電車に乗る時点でカウントしますので、これで利用者は1名と数えているようです。確かに、下館に来る時は電車で、帰る時はタクシーの人もいるかと思いますが、このような人はカウントされませんが、まあ誤差と言うことでしょう。観測期間が平成12年度～25年度とちょっと長いのですが、筑西市内4つの駅合計で2,200人弱乗車人員が減少し、下館駅だけでも1,100人強減っています。13年間で下館駅では1,100人減少、年平均88人になります。これでは、多いのか少ないのかよく分かりませんので、他と比較してみます。

それでは先ほどの自動車台数のデータの5年間から25年と20年でJRの乗車人員を比較します。

JR乗車	20年	25年	増減	増減率
筑西4駅	6,265	5,517	▲748	▲11.9%
下館駅	3,386	3,686	▲300	▲8.8%
自動車	20年	25年	増減	増減率
筑西市	99,084	99,347	+1,257	+1.3%
軽以外	69,268	66,409	▲2,859	▲4.1%
軽自動車	28,816	32,932	+4,116	+14.3%

この間の筑西市の自動車の増加は、1,257台です。何か相関があるのでしょうか？ JRの乗車人員と自動車台数にも関連はないかもしれません。

JRのデータから、2、3話をします。下館駅の25年度乗車人員3,686人の内、定期券の利用者は2,511人で約68%、900人位は切符、またはスイカを使っている訳ですが、これは私は、多いと考えています。毎日、900人以上の方が、下館駅から、通勤や通学でない人がどこかに出かけていることになりますから。

そこで、皆さんにクイズを一つ出します。皆さんは、下館駅で電車に乗った人は友部・水戸方面に行く人が多いか、結城・小山方面に行く人が多いかどちらだと



思いますか？

一度、下館駅の駅長さんに聞いたことがあります。私は、7対3で結城・小山方面ではないかと考えていましたが、驚くことに約9対1で結城・小山方面だそうです。

茨城県で一番乗車人員が多いのは、水戸駅で約29,000人ですが、同じ5年の観測期間での減少は5%に留まっています。小山駅は約2,200人、結城駅は約2,100人、古河駅は約14,000人です。

③筑西市の人口・世帯数の増減

筑西市の人口は毎年1,000人近く減っていることは良く聞かれますが、事実、合併後9年で8,400人弱、率にすると7.4%減っています。反対に、世帯数は増えています。それも毎年100～200増えていますので、今後もこの傾向は続くと思います。

人口は減っているが、世帯数は毎年増えている。高齢者の世帯は、増えませんが、若年層で増えていると考えざるをえません。分家で増えている？一人暮らしが増えているのか。もう少し分析しなければなりません。

世帯数が増えているので、自動車も増えていると言えるかもしれません。しかし、自動車の台数には法人分も含まれていますので、これも個人・法人所有を分けて考えなければなりません。

自動車が増えているので、JRの利用者は減っているのかもしれません。

いろいろデータを見て、これらの相関を見つけ出そうとしましたが、そんなに簡単ではありません。

結果としては、皆さんが普段感じていたことが数字にも表れたということでしょう。データの分析からは、相互関係は、よく分からないということが結論でしょうか。

以上、最初にお話ししたように、下館支店に赴任して水戸となんとなく違うとの感じをデータから分析できないかと、特別な傾向があるのかと調べましたが、結果は良く分からない。なんとなくデータに表れているような気もする程度でありました。

もしかすると、県西地域・筑西市の業況等は、茨城県内の他地域との比較ではなく、経済圏としては、栃木県南部、あるいは群馬県の桐生・太田地域と比較した方が分かりやすいのか等、新たな疑問も出てきます。また、時間があればデータが揃えば分析してみたいと思います。機会があればお話しすることも出来ればと思います。

今回の卓話では、何とか県西地域・筑西市に関する良いデータを見つけられないかと頑張りましたが、なかなか上手くはいきませんでした。しかし、折角、卓話の時間を頂いた訳ですので、自動車の台数が軽自動車の増加で増えているとか、JR下館駅の乗車人員は、1日当たりの平均で3,400人弱、その中で定期券利用者は68%などとのデータは初めて目にする方もいるかも知れません。これだけでも、そんな話があったと覚えていただければ幸いに思います。最後は、取り留めのない話になりましたが、これで私の卓話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

スマイルBOX

長島明伸 委員

会員誕生 関谷 徹・中里泰久・日向野陽さん

▶鈴木光則さん 前島さんの卓話楽しみにしていました。

▶早瀬浩一さん 前島支店長、卓話宜しく願います。

▶日向野 陽さん 前島会員の卓話楽しみにしています。

▶新井雅勝さん 前島会員の卓話楽しみにしています。

▶新井利平さん 新入会員前島会員の卓話を記念して。

▶関谷 徹さん 前島さんの卓話楽しみです。

▶加藤昌美さん 前島会員の卓話を記念して。楽しみです。

▶百目鬼博行さん 前島さんの卓話楽しみにしております。

▶溝口明洋さん 前島支店長いつもお世話になりました。本日の卓話楽しみにしています。

▶佐藤 昭さん 新入会員卓話前島賢彰会員よりよろしくお願い致します。

▶永井啓一さん 前島支店長卓話楽しみにしておりました。よろしくお願い致します。

▶河添康徳さん 前島さん、卓話楽しみにしました。よろしくお願い致します。

▶前島賢彰さん つたない卓話をがまんして聞いていただきありがとうございました。

▶鈴木健一さん 前島賢彰さん卓話よろしくお願い致します。楽しみにしております。

▶長島明伸さん 前島さんの卓話楽しみにしています。よろしくお願い致します。

本日の合計 33,000 円

累計 240,342 円

出席報告

黒澤昌之 委員長

会員数	出席	欠席	病欠	免除
35	20	11	0	4

■メイクアップ

月日	メイクアップ場所	氏名
8月28日	下館ローター アクトクラブ	鈴木光則 岩崎晴男